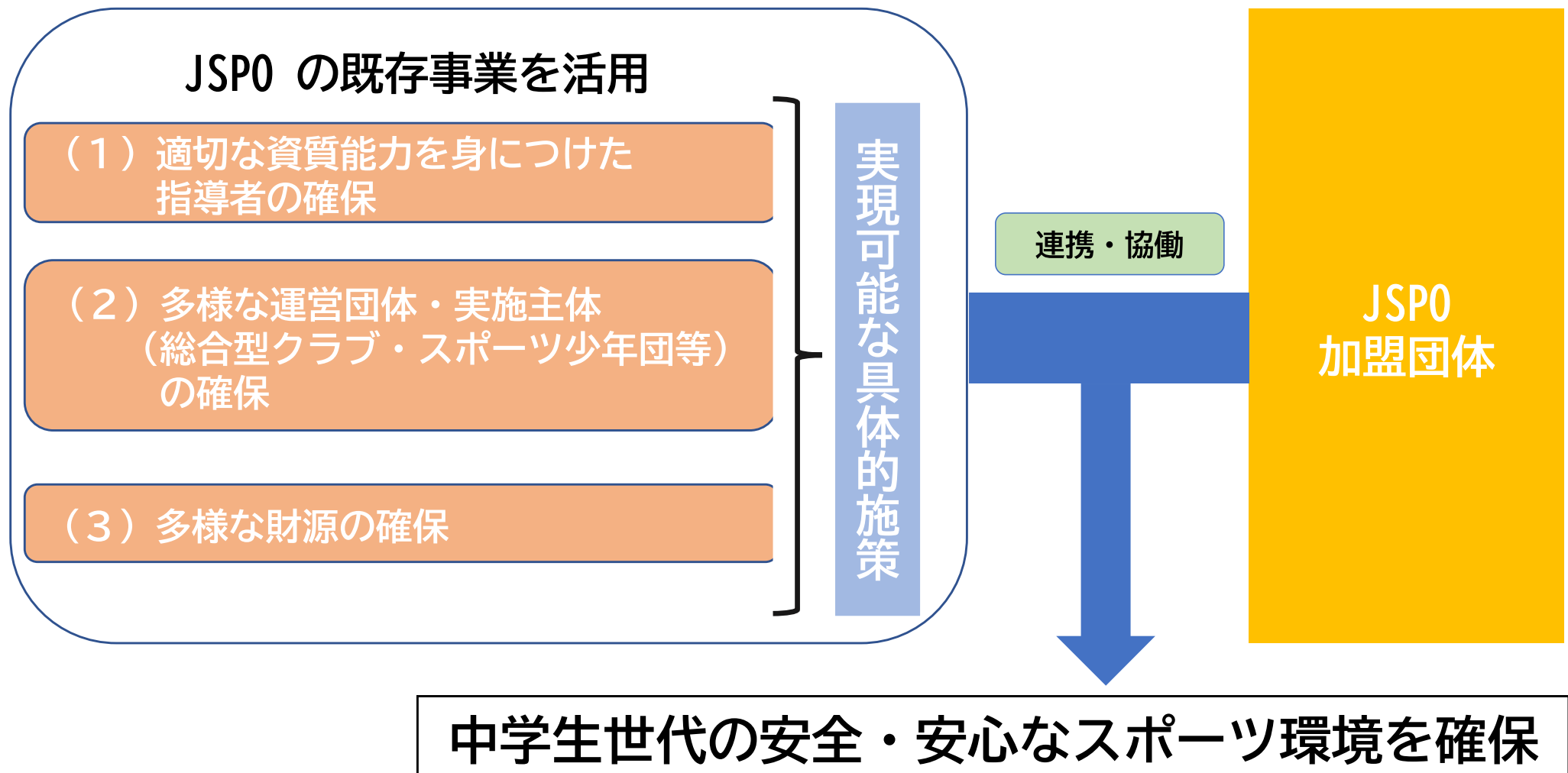


運動部活動の地域移行を踏まえたジュニアスポーツの 環境確保に向けた「ロードマップ」の進捗状況

令和6年5月16日
事務担当者会議



1. 適切な資質能力を身に付けた指導者の確保

- ・指導者の資格保有の義務付け
- ・指導者の量の確保、質の保障
- ・指導者情報の活用体制の構築

2. 運営団体・実施主体としての「総合型地域スポーツクラブ」の充実

- ・総合型クラブのガバナンス強化
- ・総合型クラブへの情報提供
- ・総合型クラブと学校との連携強化
- ・総合型クラブの量的拡大への支援
- ・都道府県における地域スポーツ推進体制の強化

3. 運営団体・実施主体としての「スポーツ少年団」の充実

- ・運動部活動の地域移行に関する情報の収集・発信
- ・運動部活動の地域移行に向けた現行規程の改定等
- ・スポーツ少年団の理念を各スポーツ団体に共通の理念に進化させた「ジュニア・ユーススポーツ憲章（仮称）」の策定
- ・日本スポーツ少年団本部とNFとの連携強化
- ・単位スポーツ少年団の量的拡大の支援

4. その他

- ・最新情報の提供
- ・「地域スポーツクラブ（仮称）」の検討
- ・安全・安心確保の啓発
- ・市区町村体育・スポーツ協会の組織基盤の強化
- ・ジュニアスポーツを含めたスポーツ関係者に対して提供可能な情報基盤の構築（スポーツDXの推進等）

1. 適切な資質能力を身に付けた指導者の確保 (1/2)

No.	施策	取組	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
①	指導者の量の確保 (指導者養成の促進)	○ スポーツ指導に積極的な教員への資格【スタートコーチ(教員免許状所持者)等】取得の促進	対象者や団体等に向けた情報発信			
			R5年度認定者： 478名 ※R4年度認定者： 246名			
		○ 総合型クラブ・スポーツ少年団・中央競技団体（NF）等における資格の取得の促進	オンライン講習の拡充			
			未取得者や関連団体に向けた情報発信			
			スタートコーチ（ジュニア・ユース）の受講対象拡大予定			
	○ 他の指導者養成団体との協働（民間スポーツクラブ等）	連携内容の調査・検討	他団体との協働			
②	指導者の質の保障 (不適切な指導の根絶等に向けた取組)	○ 新たな処分規程等の施行(2023. 1)	着実な運用に向けた関係団体との連携			
		○ 暴力等の根絶に向けた動画や指導に関連した学習促進を目的として動画等の作成・活用	動画の作成			
			完了	講習会・研修会等で活用		
		○ 指導者の資質能力やニーズに応じた研修機会を提供するため「研修ポイント制」を全資格・競技に導入	内容の検討	導入に向けた周知		

1. 適切な資質能力を身に付けた指導者の確保 (2/2)

No.	施策	取組	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
③	指導者の資格保有の義務付け	<p>○ 第3期スポーツ基本計画の記載内容に基づく、NF、総合型クラブ、スポーツ少年団に対して、ジュニア世代の安全・安心確保のため、大会参加時、日常的な活動において指導者の資格取得の義務化を要請。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>➤ NF主催大会での義務付け (令和7年度まで)</p> <p>➤ PF主催大会での義務付け (令和8年度まで)</p> <p>➤ 日常的な指導の場の義務付け (令和12年度まで)</p> </div>	<p>資格協同認定団体への継続的な要請</p> <p>スポーツ指導者の資格保有の必要性を周知・広報</p> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>R5年度集計中 ※R4年度実績 NF主催：11団体 PF主催：2団体 日常：0団体</p> </div>		
④	指導者情報の活用体制の構築	<p>○ 公認指導者マッチングサービスの強化</p> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>マッチング設定済の公認指導者：約6,400名 募集案件数：65件(4月～11月) ※R4年度実績：129件</p> </div>	<p>利用促進に向けた周知・広報</p> <p>サービス内容の継続的な見直し</p>		